

SDGsの達成に向けては、将来を担う若い力の躍動が不可欠です。
今回は、9月21日に静岡青年会議所（静岡JC）が行った「SDGs推進事業～このまちの未来を共に創造しよう～」の様子をお届けします。

今回のイベントは、若者がまちの魅力を発見し、体感すると同時に、SDGsの視点も交え、若者目線で静岡の魅力を発信することを通し、若者自身がSDGsを理解し、行動の第一歩を引き出すことを目的に、静岡青年会議所が自らの活動の一環として開催したものです。

イベント概要

<第1部>

「持続可能な経営」を実践している市内商店街の老舗5店舗を約20名の参加者が訪れ、店主等へのインタビュー等を通し、静岡の魅力を探りました。

<第2部>

- ①グループワークを行い、参加者相互の発見を共有しました。各グループでは留学生も交えて活発な議論も行われ、参加した若者たちは新たな気づきを得ました。
- ②静岡JCが開発したSNSフレームアイコンを活用し、各グループが発見した静岡の魅力をSNSで発信しました。
- ③本市の魅力に気づいた参加者の市内定着はもとより、この活動を広め、若い力で交流人口の拡大を図りたいというねらいもあります。



<第1部>



静岡庁舎3階の茶木魚に、市内学生及び国際こば学院の留学生約20名が集まりました。



参加者は静岡の魅力を体感するため、3つのグループに分かれて、商店街の店舗を訪れました。

今回のイベントは、単にSDGsを学習するにとどまらず、SDGsを実践するという先進的な取組です。

三保原屋



小山園



田丸屋



ヤマイチ商店
(茶木魚内に展示)



浮月楼



